

## 1 目的

### ①信州ヒノキ材及び信州スギ材の木造枠組壁工法たて枠材開発に関する事業

信州スギ及び信州ヒノキの木造枠組壁工法たて枠材の開発を行う。丸太から製材、乾燥、加工までの品質管理データ収集、たて枠材の品質及び強度試験、壁せん断試験、接合部の許容応力試験を行い、生産可能なたて枠材の性能確認と、品質安定したたて枠材供給の確立を目指す。

### ②信州ヒノキ材及び信州スギ材のたて枠材による実証検証に関する事業

開発した信州スギ及び信州ヒノキの木造枠組壁工法用たて枠材を、構造計算を行った住宅に使用し、施行性及び施工後の品質検証を行う。

## 2 実施体制

事業は試験検証委員会と住宅検証委員会を設置し実施した。たて枠材の生産は、長野県内から伐採したスギとヒノキ材を県産材販路開拓協議会会員企業 6 社が行い、たて枠材試験は長野県林業総合センターで行った。

## 3 実施内容

### ①信州ヒノキ材及び信州スギ材の木造枠組壁工法たて枠材開発に関する事業

- ・たて枠材生産用の丸太計測と、製材、乾燥、仕上げ加工を一貫して各 6 社が行った。
- ・試験用のたて枠材は、スギとヒノキ各 4m の丸太 200 本から各 1200 本を生産した。
- ・長野県林業総合センターにて、スギとヒノキ各 1200 本の試験体を枠組壁工法構造用製材の日本農林規格による品質検査を行い、等級区分した。
- ・等級区分した試験体について、曲げ試験、引張り試験、圧縮試験、めり込み試験、せん断試験、全乾含水率検査、壁せん断試験、接合部の許容応力試験を実施した。

### ②信州ヒノキ材及び信州スギ材のたて枠材による実証検証に関する事業

- ・ヒノキ、スギ材たて枠材を各 3m で 2300 本生産し、全数たて振動法によるヤング係数計測と品質検査を行った。
- ・たて枠を実証検証する住宅（5 棟）に使用し、住宅検証委員会及び一般ユーザーにおける施工検証を行った。
- ・本事業の取組みについて一般ユーザーを対象に説明会を行い、需要調査を行った。



丸太計測 400 本



壁せん断試験



実証検証



説明会